

平成29年度第2回市川市公民館運営審議会 会議録

○福井委員長

これより、平成29年度第2回市川市公民館運営審議会を開催しますが、委員の半数以上の出席が本審議会の成立要件となっております。市川市公民館の設置及び管理に関する条例第14条第2項「会議」の規定に基づき、委員総数10名のうち全員の出席をいただいております、本会議は成立といたします。

また、本日の議題等につきまして、市川市審議会等の会議の公開に関する指針第6条に基づき非公開情報等は含まれていないことから、会議内容につきまして全て公開としてよろしいか伺います。

○委員

異議ありません。

○福井委員長

公開としてよろしいですね。それでは、本日の会議は公開とします。傍聴人の方はいらっしゃいますか。

○事務局

本日は、傍聴希望の方はおりません。

○福井委員長

傍聴希望の方はいないことを確認しました。それでは、本日の議題に入ります。

議題（1）平成29年度公民館主催講座の開催状況について

○福井委員長

議題（1）平成29年度公民館主催講座の開催状況について、お願いします。

○社会教育課（矢澤主幹）

はい、社会教育課矢澤です。よろしくお願いいたします。平成29年度公民館主催講座の開催状況について報告します。資料は、1ページから4ページとお配りした公民館講座情報紙、いわゆるミーティアムガイドとなっております。

まずは1ページをご覧ください。後期主催講座の計画表となります。

なお、前期講座につきましては、7月の第1回公民館運営審議会におきまして123件の講座を計画実施した旨報告したところです。

後期主催講座の開催件数ですが、前期よりも3割ほど多い158の講座を計画しています。

余談とはなりますが、前期講座と比べまして、例年、後期講座の方が開催数が多い傾向にあります。これには大きく2つの理由がございます。1つ目は、年度後半に行う講座ということで、公民館全体として後どのくらい講座実施に予算を回せるのかの見通しがついてまいりますことから、講座の企画を立てやすいという理由がございます。そして2つ目には、後期講座というのは5～7月位に計画したものを秋・冬のシーズンに実施するものですので、つまり、同一年度内に企画立案から実施まで行うこととなりますので、講座を担当する職員の人事異動等に関係なく、責任を持って最後まで自分が講座運営に関われるということも大きな要因です。

引き続き、資料1ページを元に後期講座の説明をいたします。受講対象別分類についてです。対象者の年齢性別を問わない一般向けの講座が最も多く、158件中124件、78.5%にあたるものがこれでございます。本来であればこういった誰でも受講できる講座というものが望ましいのですが、受講者の年齢、性別を絞ることによって、講座の狙いをブレさせない、といったものも必要であるとして、子ども向け講座、女性向け講座なども計画しております。子供向け講座が12件で全体の7.6%、それに続くものとして女性向け講座が10件、6.3%であります。

子ども向け講座の例としましては、ミーティアムガイド1面にあります、本行徳公民館の「子ども書き初め教室」や、南行徳公民館の「わくわく科学発見」、幸公民館の「冬休みだよ 集まれキッズ！」などがございます。他にも多くの公民館で、子ども向け、また親子向け講座、女性向け、男性向け、高齢者向けなど対象者を限定した講座を企画しております。

後ほど、3名の公民館長より、後期講座の中でも特徴的なものなど紹介させて頂く予定でございますが、今申し上げました「冬休みだよ 集まれキッズ！」につきましても、その時に、幸公民館長から詳しい中身についてご説明いたします。

次に学習課題別分類の傾向についてです。今年度より講座の分類を千葉県社会教育調査に合わせたものとしております。教養の向上に分類されるものが最も多く全体の69%を占めております。以前の分類で言うところの、外国文化や言語を学ぶ国際関係講座、スマホ・タブレットなどの情報技術講座、男性受講者に人気のある歴史講座、その他色々な趣味の講座もここに含まれます。

スマホ講座は相変わらず人気です。今までは、携帯キャリア会社から講師を

迎えて、高齢者向けにスマホの便利な使い方、アプリケーションを紹介するといったような内容が多かったのですが、だんだんと各館も講座内容に工夫を凝らしたものが多くなってまいりました。ミーティアムガイド2ページ目左上段の中央公民館講座「スマホ写真を綺麗に撮ろう」ではフェイスブックやインスタグラムなどSNS上にアップするための写真を撮影するコツを紹介するなど、時代にあったものも企画されております。

学習課題別分類の中で、最も講座計画の割合が少ないものが、分類4の職業知識・社会連帯意識となります。この中には、ゴミ問題やエコに関する講座、高齢者の生きがい仲間づくりに関する講座、男女共同参画社会の実現に寄与する講座、防災・まちづくりに関する講座などの他に、従前より該当する講座が少ないとのご意見も頂いております障害者支援講座、ボランティア養成講座などが含まれております。

障害者支援の講座ということで一例を申し上げますと、ミーティアムガイドの裏面にあります柏井公民館で行われた「陶で遊ぶ」という講座、これは以前の審議会において柏井公民館長より発表した講座でございます。県立特別支援学校であります市川大野高等学園の窯業科の生徒さんを講師に迎え、陶芸の手ほどきを受けるといったものです。教える側の生徒にとっても学校以外での社会との繋がりが体験できるなど、教える側にも教わる側にもメリットのある学校地域連携の好例だと思っております。このような講座は一過性のものではなく、続けて行くといったことも大切であると思っております。

次に資料2ページ、こちらは前期後期の合計、年間の講座計画表となります。年間目標開催数であります305講座には至りませんでしたが、まだ未開催の講座もございますが、合計講座開催数281講座、延べ講座数689回、受講者総数5,570名といった講座を計画することができ、沢山の市民の方にお楽しみいただけたのではないかと思っております。

そして資料3ページをご覧ください。こちらは年2回発行しますミーティアムガイドに掲載されていない講座の一覧となります。ミーティアムガイドは、9月と3月に発行されますので、ガイドの発行時期と講座開催時期に開きがあるものについては、ガイドには掲載せずに広報いちかわなどで別途募集をかけるなど対応しております。

また、この資料の※印がついた講座、例えば、市川公民館講座「ちょっと早い書初め」などは、ガイド中面の右上、市川公民館の後期講座として募集をしたものの追加クラスとなっております。各定員10名の講座を2クラス分募集したところ、定員を超える沢山の応募があったことから急遽3クラス目の講座を追加開催したものです。資料3ページの行徳公民館の「旅を楽しむ英会話」、「相続・遺言・終活ノートの基礎知識」も同様の理由からクラスを追加した講

座でございます。

このように、定員を超える多くの募集があった講座につきましては、講師や会場、費用面等の調整が付けばということになりますが、できる限り抽選漏れした方を受け入れるための対応を行ったところでございます。

そして最後に資料4ページ、社会教育課が企画運営を行った特別講座について報告します。特別講座とは主催講座事業が市川市第三次実施計画の重点事業に指定されたことから、29年度より3カ年実施するものでして、公民館ではなく社会教育課が企画運営する講座のことを指しております。

公の立場で行う講座ですので、趣味が広がって生きがい作りに繋がるような講座ももちろん重要なのですが、やはり講座を受講した方が、その成果を地域の課題解決に役立たせることができるもの、そういったものに取り組んでまいりたいとしまして計画いたしました。

2020年にはオリンピック・パラリンピック東京大会が開催され、今まで以上に多くの外国人の方、日本語の分からない方が東京を訪れるようになると予想されます。それは東京に近接する市川市でも例外ではございません。しかしながら日本語が話せない方に、道を尋ねられたり、簡単な質問を受けた際に、多くの日本人は戸惑い、上手く対応することができないのではないのでしょうか。これは、単に「外国の言語が分からない」というよりも「日本語以外の言語を母国語とする人達とコミュニケーションをとることが苦手である、シャイな国民性」という点に原因があると考えます。国際化は全国的な流れであり、今後、日本を訪れる多くの外国人の方に対しても、やさしく親切な対応をしていかなければいけないということは地域が抱える課題でもあります。

そこで、世界の標準的共通語であります「英語」を母国語とする方達とのコミュニケーションスキルを向上させる講座を企画したところでございます。講師は国際交流課を通じて紹介して頂きました。キャロライン・ダステスターニ氏、神田外語学院で30年間教鞭をとる傍ら、商社で商談・プレゼンのインストラクターを務めるなど、教育、カウンセリングコミュニケーション学のエキスパートです。また、市川ボランティア通訳の会の長澤洋美氏も助手としてお迎えいたしました。

受講者は定員20名のところ31名の応募がありました。抽選により対象者20名を決定し、最年少14歳、最高齢77歳という非常に世代の幅が広い受講者構成となりました。

講座は、はじめの挨拶から終わりまで、終始英語のみで行われます。内容としては、座学的なものは殆ど無く、例えば2人1組になって、一方が他方に対し、講師から示された単語について、その名称を言わずに英語のみで説明するといった内容です。最初は戸惑っていた受講者も、回を重ねるにつれてより積

極的に楽しみながら講義に臨む姿が印象的でした。

受講者の感想の一例を紹介しますと、「英語を身近に感じ、外国人に話しかけやすくなった」、「自分には上級すぎたが他の人のスピーチを聞いて学ぶ意欲が増した」、「講座で学んだいろいろな表現や役に立つ言葉を今後の学習に活かしたい」など、学習意欲の高さがみてとれるコメントが多かったです。

たった4回の講座ですので、受講終了したからといって即、来日外国人の手助けとなることができるとは言い切れませんが、本当に小さな一步ですが、この講座の成果がいつの日か市川市の国際化に一役買ってくれるのではないかと期待しているところでございます。

さて、これより引き続きまして、大野公民館、西部公民館、幸公民館の3館の公民館長より後期講座に関する発表を行います。最初に、大野公民館 森川館長、よろしくお願いいたします。

○大野公民館長

大野公民館です。よろしくお願いします。当館では、平成29年度の年間テーマを、「地域の幅広い世代に親しまれる生涯学習の場を目指す」としており、その中で、後期講座につきましては、7つの講座を実施いたしました。

1つ目には、親子を対象としました「親子プログラミング講座」、2つ目には、若い世代から高齢者までのペットブームをとらえ、「愛犬・愛猫との豊かな暮らしを学ぶ」、3つ目は、近年目にすることがなくなりました「無声映画を楽しむはじめの一步」、その他、「リフォーム工事の知恵袋」や「スパイスの達人に学ぶ本格カレー」「失敗しない格安SIM」「大人のための絵本」など多様な講座を開催しております。

この後期の講座の中で、特に特徴のある講座としましては、「親子プログラミング講座」であります。平成29年3月、文部科学省にて、「プログラミング教育」を含んだ「小学校学習指導要領」が発表されました。それによりますと、2020年から「プログラミング教育」が導入される予定とのことでした。そこで、当館において、パソコンに精通しております社会教育指導員と相談し、2020年導入に先駆けてプログラミングを体験・実施していただくという趣旨で、後期講座にて行なったものであります。

対象者を、小学4年生から6年生とし、更に親子として、パソコン持ち込みでの講座としました。定員は、8組の親子、16名としたところ、応募者数もちょうど8組、16名で、4年生の親子が3組、5年生が2組、6年生が3組でありました。

回数は、午前10時から12時の1回、2時間程度で、親子で参加となることから日曜日として、11月中旬から12月中旬までの期間で4回の開催とし

ました。

講師は、当館の社会教育指導員が行いました。

プログラミングには、一般的な小学生用学習プログラムで視覚的にもプログラミングを学べるということでスクラッチを使用しました。このスクラッチを使って、サイコロやデジタル時計、アナログ時計、そして24時間時計やアナログ逆回転時計を作ってみました。アナログ逆回転時計というのは、ご存知の方もおられると思いますが、床屋さんなど鏡越しに時計を見る際に便利な時計となっているものです。

講師からは、「初めてのスクラッチでの講座から、課題をどの程度用意したらよいかも解らず、次回は何をどの程度用意して進めるかなど、手探り状態での講座であったとのことでした。

また、「レベルを4年生くらいに合わせ、ちょっと難しいかな位にしたことから、6年生で経験したことのある児童には、物足りない部分があったのではないかと、心配もされておりました。

当館としましては、初めて、スクラッチに触れてもらった受講者は、少しはプログラミングがどういうものかが、わかってもらえたのではないかと思います。

参考に受講者の感想では、「足し算、引き算のプログラムが大変だった」「時計がちゃんと動いたときは、楽しかった。」「作っているときが一番楽しいと思った。」などの感想をいただきました。今回の講座では、講師がかなり苦労されたようですが、改めて、対象者の設定が重要と考えさせられました。以上です。

○社会教育課（矢澤主幹）

西部公民館 西島館長、よろしくお願いいたします。

○西部公民館長

西部公民館 西島です。よろしくお願いいたします。西部公民館では10件の後期講座を企画いたしました。そのうち現在9件の講座を開催しております。「老若男女いつでも集える公民館」という年間テーマを具現化するため、歴史文化、健康管理、作品づくり、自然散策、イベントなど、幅広い層の方が参加者できるよう、様々なジャンルの講座を企画しております。

本日は、その中から、2件の講座を紹介します。1件目は、歴史・文化の研究と、対象となった町の散策を組み合わせで実施した「浪曲・落語の競演会と江戸の町巡り」です。歴史・文化の講座は、毎年、前期・後期のどちらか、又は両方で実施しており、今回も「歴史的な意味・価値を持つ町並みの散策」の一環

として実施しました。

この講座は、各地の町案内人の方に、町並みや建造物等を紹介してもらいつつ、ウォーキングも兼ねて散策しており、参加者は、市川市と比較したり、当時の歴史に想いを巡らせたりと、思い思いに散策をされています。特に今回の特徴としましては、初めに座学として、「若手浪曲師と落語家による競演会」を開催し、その中から、町巡りの参加者を募りました。

座学では、日本の伝統文化である「浪曲、落語」という話芸に親しみつつ、落語、浪曲の歴史を学んだり、声の出し方などを参加者に実践してもらったりなど、イベントだけに止まらないような工夫を取り入れました。

そして、町歩きでは、競演会での演目の舞台となった江戸の町、吉原や浅草界隈を、浪曲師と落語家と一緒に散策し、巡るポイントごとに楽しくお話をさせていただきました。事前に、落語等の話の舞台となっていたことから、参加者にとっては、より親しみの持てる、身近に町を感じることができる散策になりました。また、天気にも恵まれたので、浪曲師と落語家は、和服で案内して下さり、他の町巡りグループと行き会った際には、多くの注目を集めていました。

次に、庭木の手入れ「冬」という講座です。この講座は、館庭が広く、樹木が豊富な西部公民館の特性を生かして、庭木の手入れ方法を学ぼうという講座であります。全3回の講座で、初日の前半は、座学で、基礎的な知識を習得してもらいましたが、初日の後半からは館庭に出て、講師の指導を受けながら、実際に様々な樹木の剪定を行う、極めて実践的な講座でありました。

この講座の目的ですが、各家庭が、自宅の樹木を適切に管理することが、良質な緑、樹木の保存に繋がることから、多くの方に正しい樹木の剪定方法を学んでもらいたいという趣旨で企画しました。実際に樹木の剪定を体験する講座ということで、2倍以上の申し込みがあり、市民の関心の高さも知ることができました。

参加者は、積極的に、作業に取り組み、「自宅の木では、失敗が怖くて剪定できなかったけど、講座で、思い切って枝を切り落とすことができたので、自宅の庭もしっかり手入れしたい」という声があるなど、皆さん、講座の成果を早速、試してみたいという感想をいただいております。以上で、西部公民館の講座紹介を終わります。

○社会教育課（矢澤主幹）

幸公民館 浅岡館長、よろしくお願いいたします。

○幸公民館長

幸公民館の浅岡です。よろしくお願いいたします。幸公民館では、平成29

年度の主催講座開催にあたっての年間テーマを「学校・地域との連携を深め、子ども・若い世代の利用者増を目指す」と設定しております。後期講座を開催するにあたって、どのようにこのテーマに迫ったかということを中心にお話いたします。

前期については5講座を実施しました。どの講座とも満足度は高いものの、成人対象ということで、高齢者の参加が多いなど、幸公民館での若い世代というのは40代・50代になりますが、その若い世代を呼び込むという年間テーマになかなか迫ることができませんでした。若い世代の前期の参加率は14%です。満足度は非常に高かったのですが、それに驕ることなく、後期の講座を開催するにあたり、年間テーマに迫る3点の具体的な方策をたてて取り組んだところでございます。

具体的な方策の1点目は、若い世代を取り込むため、成人対象の4講座をすべて土・日開催としました。2点目は、講座のジャンルを考慮し、偏らないようにバランスよく成人向け4講座、子供向け2講座を開催しました。3点目は、子ども向けの講座を企画し、冬休み開催としたことです。

その結果、成人対象の4講座の若い世代40代・50代の参加率は4講座の応募者全体の23%となりました。土・日開催によって約10ポイント上げることができました。

子どもの講座については、なかなか募集をしても集まらないといわれており、「冬休みだよ 集まれキッズ」が「集まらないキッズ」になるのではないかと懸念していたわけですが、ふたを開けてみると、当日の参加は低学年は16名、高学年については22名でした。申込につきましては、低学年が21名、高学年は30名あったところです。欠席の原因の一つとしてはインフルエンザがちょうど流行っていたことがあげられます。低学年は80%、高学年は110%の集まりでございました。

なぜこのように集まったかと申し上げますと、ミーティアムガイドで呼びかけた時には、信篤小学校や中山小学校の子供たちから手が上がったわけですが、いずれも都合が悪くなりキャンセルとなりました。ふたを開けてみたら地域の幸小学校、塩焼小学校、南新浜小学校の子供たちが大半でございました。

公民館としてどのような対応をしたかと申し上げますと、ミーティアムガイドを軸にして、近隣小学校全児童にリーフレットを配布し呼びかけを行いました。また学校においても担任から直接子どもたちに声を掛けてもらうなど、多大な協力を得ることができました。

このようなことから、後期の講座の開催の成功により、年間のテーマにより具体的に迫ることができたとともに、学校・地域との絆が公民館の主催講座を通して深まったように思います。公民館でも学校便りを毎月置いたり、掲示し

たりということで、公民館にも子どもの足音が響いても良いのではないかと、そういう思いで職員で取り組んでいるところでございます。後期の講座の成功によって、さらに学校・地域の連携のきずなというものを公民館を核にして深めることができたなら、公民館の役割は少しずつ果たしていけるのではないかと考えます。

○社会教育課（矢澤主幹）

議題（１）については以上となります。委員長、よろしくお願いいたします。

○福井委員長

ただいま説明がありました平成２９年度公民館主催講座の開催状況について、ご意見やご質問をお願いいたします。

○吉川委員

大野公民館の講座について聞きたいのですが、スクラッチはインターネットにつないで行ったのでしょうか。

○大野公民館長

公民館の社会教育指導員がインターネットにつなげて講座を行いました。受講者が持ち込んだパソコンにダウンロードしました。

○吉川委員

子どもたちの反応はどうだったのでしょうか。

○大野公民館長

中にはプログラミングをしたことがある子もいて、レベルにかなり差がありました。講座でやって興味がわいてきたようです。親子講座なのですが、一緒に参加しているお父さんで詳しい方もいらっしゃいました。親子で仲良く取り組む様子がみられました。

○吉川委員

幼稚園生や小学校低学年向けにボランティアでプログラミングを教えている友人がおります。公民館でもこのようなプログラミング講座をやっているというので詳しく知りたいと思い、ご質問させていただきました。

○福井委員長

ありがとうございました。他に何かございますか。

○富田委員

P T A連絡協議会ですが、市川市では学校運営協議会がはじまっておりまして、2020年までには全部の学校に設置される予定です。地域とのつながりということで、どうしても家庭・学校・地域ということで、公民館の役割が大きくなっていくのではないかと思います。子どもが参加できるものですか、先ほど浅岡館長が言われておりましたように、学校に直接連絡をとって参加者を増やしたりですか、どんどんやっていかないといけないのかな、と思います。地域の子供たちと顔見知りになれるような、そういうまちづくりをしていかないといけないのかなと。私の行っている鬼高小学校とか6中ブロックではもう始まっているのですが、公民館も色々巻き込んでやっておりますので、学校運営協議会が始まりましたら、公民館からも参加して入っていただいたりすることになると思うので、よろしくお願いいたします。

○福井委員長

ありがとうございました。地域と学校のつながり、日常色々な課題があるのかもしれませんが、できるだけつながりを持てるように、参加もできるだけできるように、地域と公民館の方に目を向けてもらうように、お母さんたちにもお話をしてもらいたいと思います。

○富田委員

まずは挨拶ができるような地域づくりをできればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○遠藤委員

柏井公民館の大野特別支援学校の「陶で遊ぶ」という講座なのですが、参加者数や応募数がどれくらいあったのか、また大野特別支援学校から何人くらいお手伝いが来て講座を行われたのでしょうか。

○福井委員長

柏井公民館長お願いいたします。

○柏井公民館長

応募は定員の1.2倍でした。講座のお手伝いをして頂いているのは30名ほどです。大野特別支援学校はこの講座以外にも、日頃から公民館と関わりが

ございます。自分たちで育てた野菜をリヤカーで持ってきて、その時に活動している人たちや職員が来て購入したり、公民館の文化祭に参加して活動していただいたりしております。講座だけではなく年間を通じて交流を持っております。

○福井委員長

他に何かご質問はございますでしょうか。

○小山委員

コミュニティクラブの関係からお尋ねしたいのですが、市川駅南公民館の8番「チャンス到来 今こそ将棋デビュー」の講座の反響はいかがでしたでしょうか。コミュニティクラブでも将棋教室を開催しましたところ、応募者が殺到したということで、大変人気があったという話です。

○社会教育課（矢澤主幹）

本日は市川駅南公民館長が会議に出られないということで、私の方からお答えいたします。こちらは定員20名のところ応募が33名あったということです。1. 7倍の応募があったのですが、33名全員が受講できるよう定員数を増やしました。第2回が終わったばかりということで、満足度についてはまだ集計データがでていないのですが、非常に人気のある講座だと思っております。

○福井委員長

他に何かご意見、ご質問はございますでしょうか。ありがとうございました。それでは次の議題に移らせていただきます。

議題（2）平成29年度公民館施設の工事及び修繕について

○福井委員長

議題（2）平成29年度公民館施設の工事及び修繕について、お願いします。

○社会教育課（清水主幹）

社会教育課の清水でございます。「平成29年度公民館施設の工事、修繕について」報告いたします。資料の2ページをご覧ください。いずれの件数も平成30年1月31日現在のものです。なお、一部の改修工事や修繕実施の様子については、資料の7ページに施工前と施工後の写真を掲載しております。

本市の公民館の多くは開館から30年以上経過しており、施設の老朽化が進

んでおります。このため、社会教育課では中期・短期計画を策定し、改修工事及び施設修繕を計画的に実施しております。また、空調・電気・水道等の突発的な不具合も多く発生しており、こちらはその都度、小破修繕として対応しております。

平成29年度の改修工事は3件ございました。1つ目は「経年による劣化が激しい曾谷公民館レクリエーションホールの屋根・外壁の改修工事」を行いました。汚れが目立ったり傷んだりした屋根の改修ということになります。2つ目は、空調設備が故障したため、臨時で改修を行ったものですが「行徳公民館(新館)冷暖房設備の改修工事」を行ったところです。

3つ目ですが、こども発達センターの冷暖房設備が老朽化したため、センターに併設されている「市川駅南公民館冷暖房改修工事」を行いました。これは、発達支援課の予算で執行したものです。改修工事につきましては、以上3件でございます。

続きまして、平成29年度の施設修繕についてお話いたします。はじめに、計画的な修繕ですが、24件実施いたしました。一例ですが、鬼高公民館においては、老朽化した外階段を整備して、非常時における利用者の安全確保に努めました。資料の7ページに写真を掲載しております。また、本行徳公民館において老朽化したプールサイドフェンスの修繕を行い、利用者が安心して楽しめるよう安全確保を図りました。こちらも資料7ページに写真を掲載しております。

さらに、毎年度順次実施しております畳替えは、幸・柏井・信篤・市川で実施しております。

こちらも毎年度計画的に実施しておりますトイレ洋式化につきましては、今年度は西部公民館女子2台及び幸公民館女子1台、若宮公民館につきましては、当初女子の洋式化を予定しておりましたが、男子の洋式化に変更となりました。これは2月上旬から修繕に取り掛かっているところです。

最後に、突発的な施設の不具合に対応する小破修繕は、1月末までに106件実施しております。その内、数例を紹介いたします。

曾谷公民館において、第2研修室床等の修繕を行いました。汚れが目立ち薄暗い印象を受ける室内の床を、明るく清潔感を感じられる室内となるよう床を張り替え、利用者の学習環境を整備しました。また、信篤公民館においては、3階トイレ污水管が詰まったため、取替修繕を行い、衛生環境の維持に努めました。さらに、市川公民館においては、パーテーションが老朽化し開閉が出来なくなったため、第2、第3研修室を分けて使用できない状況であったことから、パーテーションを取り替え、利用者の利便の向上を図るため修繕を行いました。まだ他にもございますが、代表的なものをご紹介します。

平成29年度公民館施設の工事・修繕についての報告は以上となります。

工事・修繕ではないのですが、10月の台風の時に西部公民館の木が倒れて、西部公民館図書室の窓ガラスにひびが入ってしまいました。樹木の撤去ということで、委託の形になりますが、植栽の撤去を行ったところです。以上です。

○福井委員長

ありがとうございました。ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

○川添委員

トイレの様式化というのは最終的には100%を目指していくのでしょうか。

○社会教育課（清水主幹）

女子トイレが3分の2の67%、男子トイレは5割を目標にしております。というのは、まだ便座に腰を下ろすのに抵抗があるという方もいらっしゃるようですので、和式も当分の間は残す予定でおります。

○川添委員

車いすの方の対応はどのようになっていますか。

○社会教育課（清水主幹）

中央公民館は場所が難しいのですが、各館の1階に多機能トイレを設置しております。

○福井委員長

ありがとうございました。他に何かございますか。

○早川委員

公民館主催講座について、本当に素敵な名前で内容也多岐にわたって、大勢の方々が参加していて、公民館の取り組みも本当に素晴らしいと感じます。今年度公民館の文化祭を見せていただいたのですが、多くの方々が参加してサークルの日頃の成果の発表があって、地域に根差した活動が行われていると感じました。公民館によっては近隣の学校の発表の場であったり、作品の展示の場であったり、うちの学校からも今回出させていただいておりますが、全館共通のテーマである学校と地域の連携に取り組まれていると思いました。地域になくてはならない存在として、これからも引き続きご尽力いただければと思います。

○福井委員長

学校と地域との連携は、これからもますます重要になってくると思います。ぜひ公民館が核となって発展させて欲しいと思います。よろしくお願いいたします。他に何かございませんか。それではご意見・ご質問ないようですので、本日の議題は、以上となります。最後に事務局から何かございますか。

○事務局

29年度の審議会はこちらで終了となります。次回の審議会につきましては、詳細が決まり次第、改めてご連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。

○福井委員長

皆様、ありがとうございました。以上をもちまして、平成29年度第2回市川市公民館運営審議会を終了いたします。